

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
音楽 I	1	文理・生命科学	A B C D E	本田
目 標	① 幅広い音楽活動を通じて、芸術音楽の美しさを感じ取ること。 ② 視唱力、視奏力を磨き、曲想をとらえた表現力を身につけること。 ③ 音楽の組み立て方を学び、創作活動に生かすこと。 ④ 日本の伝統音楽やクラシック音楽を鑑賞し、その特徴をまとめること。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	芸術音楽を聴いたり、演奏したりすることを楽しむ心	曲の構成や歌詞の内容をふまえた表現力	声や楽器の特性を理解し、曲想を豊かに表現出来る技能	楽曲の歴史的背景を理解した上で、鑑賞する力

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	期末	<発声基本練習> 発声の練習 <楽典の学習> 音階と音名、音程、音楽用語 <歌唱教材> 「野ばら」「Ave Maria」 「校歌」「聖歌」 「サザエさん」「少年時代」 <鑑賞教材> シューベルトの作品	<ul style="list-style-type: none"> 響きの良い発声法を身につけ、ハーモニー感のある歌い方を工夫します。 中学校で学んだ楽典の知識を復習し、さらに内容を深めます。 ドイツ語の発音や、曲想に合わせた表現方法を工夫し、原語での独唱に取り組みます。 音の響きや日本語の歌詞を大切に、表現やアレンジの特徴などについて学びます。 シューベルトの音楽とその生涯について、まとめます。
二学期	期末	<創作活動> オルゴール曲の分析 オルゴール曲への編曲 オルゴール曲の作曲	<ul style="list-style-type: none"> オルゴール音楽の特徴を分析します。 楽曲をオルゴール曲に編曲し、時間があれば作曲活動にも挑戦する予定です。 発表を互いに評価し、内容を深めます。 旋律に合う和音を工夫します。
三学期	期末	<鑑賞教材> 箏曲「六段の調べ」 三味線・箏について <箏曲実技実習> 「六段の調べ」 <ソルフェージュ> リズム譜や視唱課題実習	<ul style="list-style-type: none"> 日本音楽について理解を深め、箏の実習の事前準備をします。 ゲストティーチャーの箏曲指導を通じて、箏の基本的な演奏方法を学びます。 リズム打ちやメロディー視唱について実習します。

評価の方法	定期テスト、実技テスト、作品発表、授業態度、レポートで評価します。
学習活動の特徴	表現、鑑賞の音楽活動を中心に授業を進めます。
授業の形態	音楽選択者による一斉授業、グループ練習、実技実習
使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)
使用副教材	賛歌
用意するもの	教科書、プリント、副教材
備考	特になし